

石川町第5次総合計画 沢田地区まちづくり計画書



(さるすべり公園より古内方面を望む)

平成20年3月

沢田地区まちづくり委員会

沢田地区まちづくり委員会報告書

沢田地区まちづくり委員会は、石川町第5次総合計画策定方針により、沢田地区まちづくり計画を策定するため、委員会を5回、事務局会議5回開催してまいりました。

沢田地区は、石川町の西部に位置し、阿武隈川と社川に挟まれた比較的平坦な地域です。地区面積は、14.96km²、このうち58%が農地で、稲作はもとより、野菜、果樹などが栽培され、特にりんご、なしなどは品質も良く首都圏等へ出荷されています。

また、自然も豊かで、白鳥が毎年飛来する白鳥池や那須山連邦をはじめとした遠くの山々の眺望など素晴らしい景観を誇っています。

さらに、大壇古墳群、鳥内遺跡など数多くの文化財や天道念仏などの伝統行事も継承されています。

こうした中で、委員会では、沢田地区の良い所、問題点、新たな地域資源等を発掘することを目的に、委員を対象としてアンケート調査を行いました。

この調査を基に「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域づくり」を目指し、議論を重ねました。

委員会では、これらの地域現状を踏まえ、自分の地域（ふるさと）を自慢できるまちづくりのために「沢田地区まちづくり計画」を策定しましたので報告いたします。

石川町長 加納 武夫 様

平成20年3月19日

沢田地区まちづくり委員会委員長 近藤 孝男

目 次

沢田地区まちづくり計画書	1
計画の策定経過	3
沢田地区まちづくり委員会委員名簿	4
資料編	5

沢田地区まちづくり計画書

○地区の概要・特性

沢田地区は石川町の西部に位置し、阿武隈川と社川に挟まれた比較的平坦な地域です。農業が盛んで、稲作はもとより、野菜、果樹など多品目にわたり栽培され、特にりんごは、品質や味も良く有名で首都圏等へ出荷されています。

また、地区に広がる田園地帯は自然が豊かで、白鳥が毎年飛来する白鳥池や阿武隈川から見る那須連邦をはじめとした遠くの山々の眺望など、

すばらしい景観を誇っています。さらに、県指定史跡である大壇古墳群や鳥内遺跡など数多くの文化財が現存し、天道念仏などの伝統行事も継承されています。



(十三塚より那須連邦を望む)

○地区の現状と課題

- ・近年、住民個々のライフスタイルの変化により、人と人とのつながりが薄れてきているので、住民同士の「連帯」や「和」を大切にした地域づくりが求められている。
- ・高齢者が元気でいきいきと安心して暮らせるように、見守りや生きがいがづくりの創出が必要である。
- ・地区には、史跡や伝統文化などが数多く残っているので、子どもたちに体験学習の機会を持たせたい。
- ・より良い地域資源を発掘し活用していきたい。
- ・若者が地域に誇りを持って暮らせる地域づくりを目指す。
- ・道路の改修など生活基盤の整備が必要である。



(冬の白鳥池)

○事業計画

①ふるさとの景観づくり

目的 地区内の良好な景観づくりを一層進めるとともに、この運動に住民がこぞって取り組むことで、住民同士の連帯と誇りを高めることを目的とする。

計画内容

道路脇など植え込み可能な適地を選定し花苗等の植栽を行い、その効果を広く住民に周知し、賛同を得ることで将来的にはこの運動をすべての地域に拡大していく。

具体例 景観コンテスト、写真展など。

②特産物を生かした交流の輪づくり

目的 野菜・果物の産地としての特性を活かし、食や農をテーマとしたイベントを開催、高齢者や子どもを含めた多世代交流を通し、地産地消や食育を普及しながら地域の活性化を目的とする。



(給食おいしいね)

計画内容（具体例）

- ・農産物直売所 地区内で行われるイベントなどに臨時の直売所を設け、高齢者が作った野菜や漬物等を直売することで、高齢者の生きがいを創出する。
- ・料理腕自慢 そば打ちや料理教室などに地区内の腕自慢を招き、地元で生産される食材を使った料理を学ぶことにより地産地消や食育の普及に努める。

③歴史や自然に親しみ地域の誇りを育む

目的 住民や子どもたちに、地区の歴史や文化を学べる機会を設け、地域への理解を深めてもらうとともに、次の世代へ残すべき伝統文化の確実な伝承を図ることを目的とする。

また、四季折々のすばらしい自然に親しんでもらうことで、地域資源の保全を図る一方、新たな資源の発掘と活用を目的とする。



(宝海寺の五輪塔)

計画内容

- ・歴史講座や史跡探訪会の開催と講師の養成。
- ・史跡、伝統行事などの紹介やパンフレットづくり。
- ・史跡や自然の保存保護活動及び新たな地域資源の発掘活動。
- ・学校と連携した次代の人づくり。

具体例

- ・歴史講座等の定期的な開催。
- ・地区内にある神社仏閣等の紹介。
- ・地域資源マップの作成など。



(収穫期を迎えたりんご)

計画の策定経過

日 時	内 容
H19. 9. 25	第1回沢田地区まちづくり委員会 内容「執行体制及びまちづくり計画の進め方についての協議」
H19. 10. 16 ～ 10. 31	沢田地区まちづくりアンケートの実施 内容「沢田地区の良い所や問題点及び新たな地域資源を発掘することを目的に、委員を対象としたアンケートを実施」
H19. 11. 6	第2回沢田地区まちづくり委員会 内容「アンケート結果についての分析」
H19. 11. 30	第3回沢田地区まちづくり委員会 内容「アンケート結果の分析及びまちづくりの方向性についての協議」
H19. 12. 20	第4回沢田地区まちづくり委員会 内容「まちづくり計画書策定についての協議」
H20. 2. 5	第5回沢田地区まちづくり委員会 内容「まちづくり計画書（案）についての協議」
H20. 3. 19	沢田地区まちづくり計画書提出

沢田地区まちづくり委員会委員名簿

役 職	氏 名	住 所	所 属
委 員 長	近藤 孝男	沢井字打出 6 2	下沢井
副委員長	添田 廣美	沢井字西ノ作 3 - 1	中 央
	松山 昌平	沢井字根宿 2 4 0	下沢井
	根本 常和	沢井字十三塚 3 4 - 1 9	沢井三里
	佐藤 芳伸	沢井字東内打 9	沢井三里
	星 貴	沢井字山神 4 2 5 - 1	古 内
	鈴木 信昭	沢井字清水窪 1 3 8	古 内
	小林 富男	沢井字西ノ作 9 5 - 2 1	中 央
	高木 勝典	赤羽字浦 3 3 - 5	赤 羽
	高木 正仁	赤羽字新宿 3 0	赤 羽
	郷 徹	新屋敷字新覚 1 4	新屋敷
	郷 義郎	沢井字後原 9 2	新屋敷
	吉田 清貞	新屋敷字大段 3 7 - 6 6	鳥 内
	吉田 隆	新屋敷字鳥内 2 0	鳥 内
アドバイザー	郷 征弘	新屋敷字新覚 2 5	沢田地区公民館長
アドバイザー	深谷 政勝	沢井字上ノ原 1 2	公民館事務補助員
	塩田喜美子	沢井字川井 4 5 2 - 2	婦人会会長
	吉田 幸子	沢井字大山平 9 0	婦人会副会長
	荒木 幸江	赤羽字浦 3 1	婦人会副会長
事務局長	矢内 秀明	沢井字十三塚 3 6	石川町役場
庶 務	郷 貞夫	沢井字清水窪 1 4 4 - 2	〃
庶 務	江尻 勝博	赤羽字新宿 5 1	〃
庶 務	岸浪 正徳	新屋敷字塩塚 3 6 - 2	〃

資 料 編

よいところ、わるいところ

よくしたいところ

自然環境

- ①自然に恵まれている。(自然が豊かである。)
- ②新屋敷地区から眺める磐梯山の雄姿は最高。
- ③地形は平坦で雪が降っても危険が少ない。
- ④赤羽、新屋敷の広大な田園。
- ⑤西側に眺望できる那須連山。
- ⑥大池公園(白鳥池)の白鳥の飛来

- ①春、秋、冬は空気が乾燥し、風が強いため、特に畑、もみがら等の粉じんが飛散し、目、鼻、のど等がひどくなる。

- ①道石川・白河線の歩道も改良されることから、フラワーポットで四季を通じて彩りのある空間を創造する。
- ②花いっぱい運動
- ③白鳥池周辺の整備。
- ④意味のない立て看板や古くなった標識が景観や交通の障害になりかねないので設置者等に確認し、撤去してもらう。

防犯交通災害

- ①交通、防犯活動活性化、子どもの安全が確保されている。
- ②事件事故災害がほとんどなく、住みやすい。
- ③交通の便が良い。(白河、須賀川へ行くのに)

- ①道路が整備され便利になったが、交通量の増加や自動車のスピードの出しすぎ等。
- ②少子・高齢化の加速度的な進行。将来不安である

- ①小学校周辺の通学路はスピードを落とす。
- ②緊急時に誰もが消火活動に参加できるように消火訓練ができる仕組みづくり
- ③帰宅途中の児童への声かけなど耳にするので街路灯などを増やせないか。
- ④空き家の増加による周辺環境への対策。
- ⑤一人暮らし世帯、老人だけ世帯のマップづくり。

人交流

- ①近所の方々との助け合いがなされている。
- ②地域の連帯意識は高い。コミュニティがとれている。
- ③地区スポーツ祭、地区文化祭を通して、地域の人達との交流が図られている。
- ④ほとんどの人が地元なので安心感がある。

- ①後継者不足。
- ②リーダーの育成。
- ③ゴミの集荷所が遠く年寄りには負担である。

- ①挨拶の励行。
- ②個人の意識を高めるための話合いが必要。
- ③ゴミ出しのルールが徹底。
- ④プレタブ集めて車イスとの交換。
- ⑤あぶくま川の堤防を利用したウォーキングを行い、住民同士のふれあいや健康づくり。

よいところ、わるいところ

よくしたいところ

産業
(農業)
(商工業)

- ①平坦で作物は何でもできる。野菜と果物の産地であり新鮮なものが身近にある。
- ②果樹地帯であり、評価の高いりんご産地。
- ③小工業団地がある。

- ①会社が少なく働く場所がないため、息子に家を継いで欲しいが就職先がない。
- ②農業後継者・嫁不足。

- ①遊休地の利活用。
- ②元気高齢者に作業所をつくり、豆・花等集団化で何か道がひらけないか。
- ③地産地消、学校給食にとり入れ、食育（体験を通して）
- ④沢田の農産物のおいしさ。
- ⑤人は自然の中で生かされているということの実体験（野菜、新米のおいしさ、収穫祭）や農産物の共同販売所（道の駅など）があれば良いのでは。（果物直売所（個人所有）だけでなく）
- ⑥農業の担い手の育成、集落営農推進。
- ⑦土ぼこりの飛ばない環境に気を使った畑作が必要と思う。
- ⑧働ける場がもっと多くあれば良いと思う。
- ⑨休耕地などを利用し、都市部の人々の農業体験を実施。

歴史
地域資源

- ①鳥内遺跡や大壇古墳、五輪塔
- ②愛宕山、亀の甲山
- ③桜
安養寺の桜、長福院のしだれ桜、小野公園の桜、真明田の桜、宝海時の桜、東光寺の桜、安産地蔵尊の桜、大池の桜。
- ④阿武隈川、鷹ノ巣公園
- ⑤新屋敷安産地蔵

- ①沢井城跡をはじめ数多くの遺跡や古墳が埋もれたままである。
- ②史跡の案内板はあるが、訪れる人が少ない。

- ①史跡などのパンフレット等をつくる。
- ②今こそ、老人、子供たちが一丸になって、縄もじり、餅つき、こま、凧揚げ等、日本人として継承すべき。
- ③歴史、昔話、伝統行事を伝える
- ④各地区に伝わる盆踊りの伝承
- ⑤安産地蔵尊の由来の伝承
- ⑥中央区の有志で整備した愛宕山公園のように、地域資源を生かしシンボルづくり
- ⑦森林を活用した里山づくり。
- ⑧戦死された方々の慰霊顕彰。

生活
基盤

- ①水（水道）が石川町内と比較して美味しい。
- ②道路整備がされ運転者に良い環境になった。
- ③児童館、小学校、中学校、公民館が近くに位置している。
- ④私設ではあるが、老人介護施設がある。

- ①道路（農道含む）・水路の整備が遅れていて不便である。
- ②路舗装が未整備で不便なところがある
- ③入院病棟がないこと。
- ④バスの便数が少なくなって不便である。
- ⑤食料・日用品を買える商店等が近くにない。

- ①下水道の普及。
- ②県道に限らず、道路を整備してほしい。
- ③不法投棄ゴミへの対応。
- ④農地、宅地、山林等、土地はあっても他の地域との連結道路がない。（県道のみ）しかも宅地にならない。今すぐ改善すべき。

沢田地区まちづくりアンケート

まちづくり計画を策定するにあたり、どうすれば沢田地区がより住みやすい地域となるのか、委員の皆さんが普段考えていることをもとに現状を把握し、計画づくりに活かしていきたいと考えておりますので、アンケートへのご協力をよろしくお願いします。

(このアンケートの結果は、第2回沢田地区まちづくり委員会の資料として使用します)

Q1. 住みやすいと思えることはありますか。(自分の住んでいる地域を含めて)

Q2. 住みにくいと思えることはありますか。(自分の住んでいる地域を含めて)

Q3. ここを良くしたらもっと住みやすいのにと考えていることはありますか。
(自分の住んでいる地域を含めて)

Q4. 桜、大きな木、眺め、など他の地区(沢田地区外)に比べ誇れると思うものがありますか。
(どんなことでも結構です)

※裏面もあります

Q 5. 地域の伝統・文化などで、子どもたちに残したい、伝えたいと思うものはありますか。

Q 6. 地域に現在、上手く活用されていない財産や資源などがありますか。(何でも結構です)

Q 7. 他の地区(他市町村を含む)が行っていることで、沢田地区でも行えば良いのと思っていることはありますか。

Q 8. 今困っている、早急に改善して欲しいと思っていることはありますか。

Q 9. 沢田地区まちづくり計画の策定にあたり、何かご意見があればご記入ください。

※ご協力ありがとうございました。記入したアンケートは、10月31日(水)までに沢田地区公民館または沢田地区まちづくり委員会事務局まで、同封する封筒に入れ提出をお願いします。